取付説明書

KV8092 型

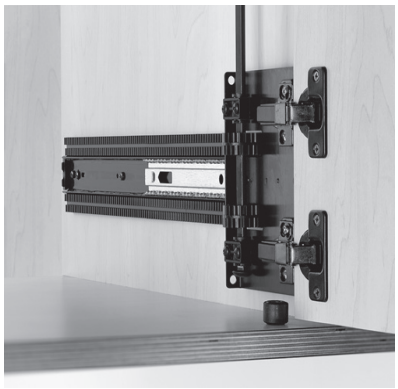
重量用垂直収納扉金物

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。取付後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- 開いた扉をキャビネット内側に収納し、キャビネット周辺のスペースを有効に活用できる垂直収納扉金物です。
- スライドレールを連動させるシャフトを用いることにより、スムーズな操作感が得られます。

※ 丁番にはキャッチ機能があるため、プッシュラッチとの併用はできません。



取り付けできる扉

高さ	1830 mm以下	1831～2400 mm
質　量	34 kg以下	25 kg以下
幅	660 mm以下	
厚さ	18 ～32 mm	

正しく安全に取り付けていただくために

■図記号の意味

警告 注意	禁止	厳守

警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。

- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度のキャビネットを製作してください。
  また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- 本来の目的とは異なる使用方法や本書に示す仕様以外の扉には使用しないでください。
- 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

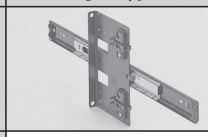
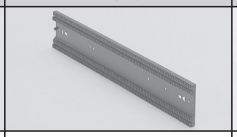
- 本製品の取付工事は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行ってください。取付けに不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- 本製品は家具を構成する為の部品です。取付終了後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認ください。また、使用者へ家具を安全に使用するための注意事項を伝えてください。
- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。板の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- 扉は、全開(90°)以上開かないよう注意してください。故障の原因になります。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとを目安にしてください)。

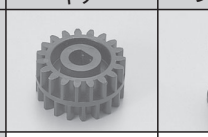
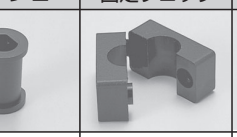
部品セット内訳

部品セット1セットは、レール2本分です。レールを3本使用する場合は、別売の追加部品セットが必要です（※1）。

●部品セット㋐

品番：8092-□□　（レール長さにより品番が違います。表1参照）

品　名	レール	ラック	キャップ
			
個数/セット	2ヶ ※1	2ヶ	1ヶ※2

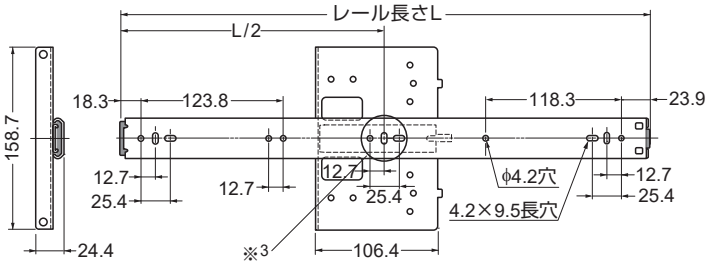
品　名	ギア	ブッシュ	固定ブロック	ガイドローラー
				
個数/セット	4ヶ	4ヶ	4ヶ	2ヶ※2

品　名	レール取付ねじ	固定ブロック取付ねじ	ガイドローラー取付ねじ
仕様／サイズ	十字穴付 トラスタッピンねじ 4×12	十字穴付なべ小ねじ 4×20	十字穴付サラタッピンねじ 4×30
個数/セット	18本	8本	2本 ※2

※1 レール3本（4本）使いの場合、操作力が大きくなります。
※2 の部品は、追加部品セットには含まれません

表1　部品セット

品　番	レール長さL	扉収納量	キャビネット奥行寸法
8092-18	460.4	345.9＋扉厚	(466.7+扉厚)以上
8092-20	511.2	396.7＋扉厚	(517.5+扉厚)以上
8092-22	562.0	447.5＋扉厚	(568.3+扉厚)以上
8092-24	612.8	498.3＋扉厚	(619.1+扉厚)以上
8092-26	663.6	549.1＋扉厚	(669.9+扉厚)以上
8092-28	714.4	599.9＋扉厚	(720.7+扉厚)以上
8092-30	765.2	650.7＋扉厚	(771.5+扉厚)以上



※3 取付穴は、8092-18、8092-20、8092-22、8092-24にはありません。

●追加部品セット㋑（レール1本入）

注文コード	品　番
180-027-311	8092-18A
180-027-312	8092-20A
180-027-313	8092-22A
180-027-314	8092-24A
180-027-315	8092-26A
180-027-316	8092-28A
180-027-317	8092-30A

注意　扉高さ1831～2100 mmの時、部品セット1セットに加え、1セットご注文ください

●丁番セット㋒

品番：8086HKEZX

品　名	丁　番	丁番取付ねじ
仕様／サイズ		十字穴付サラ木ねじ 3.5×10
個数/セット	2ヶ	4本

レール本数分のセットが必要です。

●連動シャフト㋓

品番：29475-□□

(連動シャフト長さにより品番が違います。表2参照)

	連動シャフト
個数/セット	1本

表2　連動シャフト

品　番	シャフト長さ
29475-36	902±13
29475-48	1207±13
29475-72	1816±13

取付手順

1 丁番の取付け

・丁番を扉に丁番取付ねじで固定する。

2 レールとラックの取付け

【1】レールをラックの案内ピンにはめて位置決めする。(図3)
【2】図１に従い、キャビネット内側にレールの中心線をけがく。
【3】各レールが水平になるようにねじ止めする。
※　必ずレール先端の取付穴を使ってレールの付属ねじで固定してください。(図4)

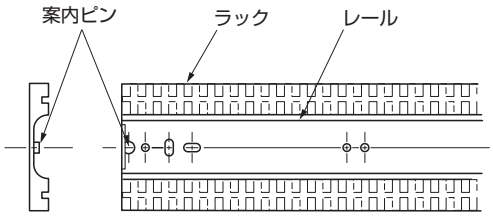


図3

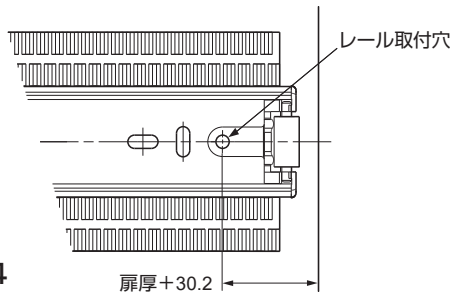


図4

SUGATSUNE

扉／キャビネット／連動シャフトの加工

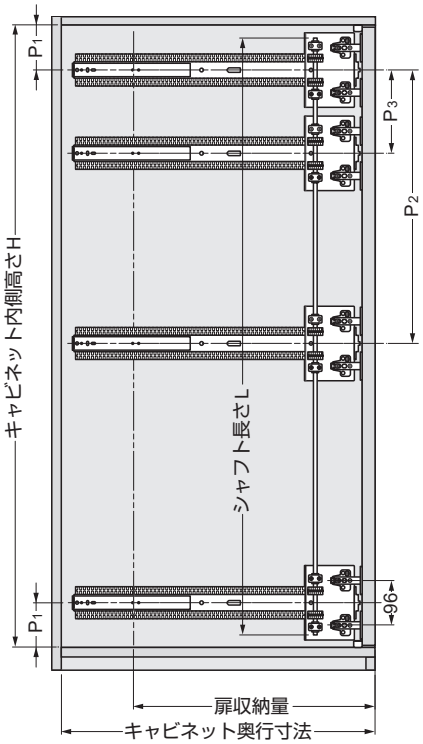


図1

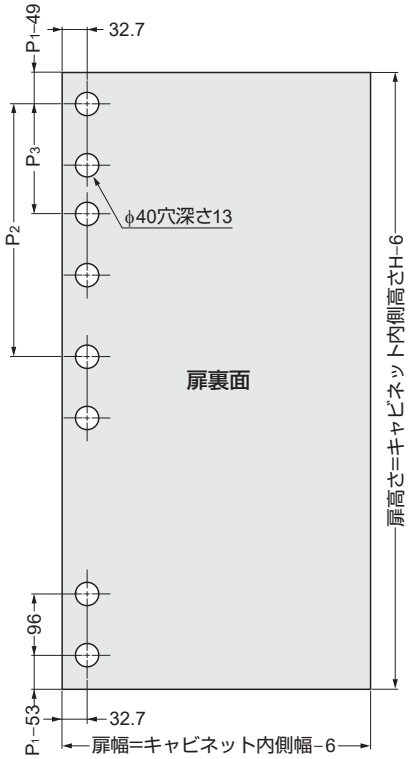


図2

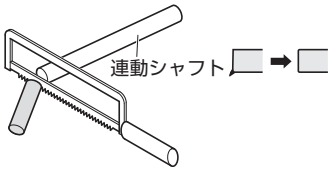
※3 扉の垂下がり2 mmを考慮して3 mmとしてあります。

寸法と部品数

キャビネット寸法	扉高さ	1830以下	1831〜1898	1899〜2100	2101〜2400
	キャビネット内側高さH	1836以下	1837〜1904	1905〜2106	2107〜2406
	P_1	121		(H−1662)/2	
	P_2	−	(H−242)/2	831	
	P_3	−			224
部品寸法	シャフト長さL	H−101		1803	
必要部品数	部品セット あ い	あ1セット	あ1セット + い1セット		あ2セット
	丁番セット う	2セット	3セット		4セット
	連動シャフト え	1本			
レール使用本数(あ い内のレール本数)		2本	3本		4本

金物を隠したい時は、中帆立(お客様ご用意)を付けてください。
中帆立はメンテナンスのため、取り外し可能な構造にしてください。

連動シャフトの加工長さは、左の表にしたがってください。切断した場合、切断面のバリ、かえり等をきれいに除去してください。



取付手順

3 連動シャフトの組立て

【1】連動シャフトを切断した場合、端部は他の金具が取り付けやすいようにバリを取り除いておく。

【2】ギア、連動シャフト、ブッシュなどを図5のように上下を間違えないように仮り組みする。

※ ギアが逆向きだとラックと噛み合いません。
※ ブッシュがきつい場合は、強く差し込んでください。

【3】キャップを連動シャフトに強く押し込む。

⚠注意
連動シャフトは継ぎ足して使用しないでください。
扉の動きに悪影響を及ぼします。

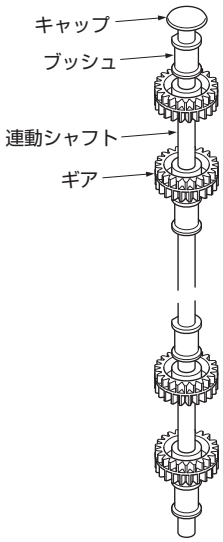


図5

4 連動シャフトの取付け

【1】レールブラケットを手前いっぱいに引く。

【2】連動シャフトのギアとラックのギアをしっかり噛み合わせ、
固定ブロックを固定ブロック取付ねじで固定する。
(図6)

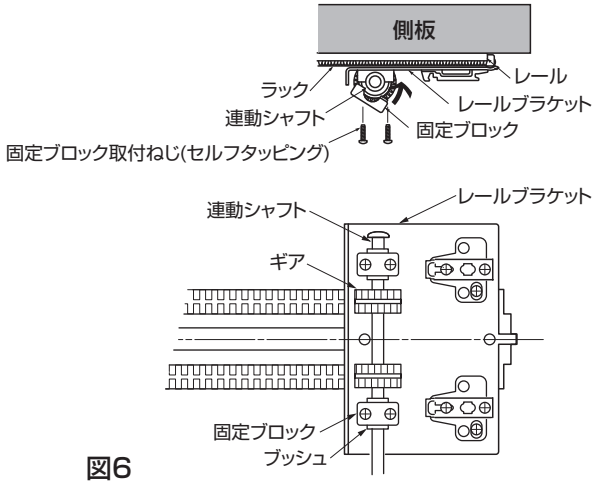


図6

5 扉の吊込みと調整

【1】扉の吊込み
扉に付けた丁番をレール上の座金にはめ込み、前後調整ねじで固定する。

※ 2個の丁番が並行になるように向きを調整しておくと、取付けが容易です。
扉をゆっくり開閉し、扉がしっかり取り付けられたか確認する。

【2】扉の調整（図7: 調整の方向は閉じたときの方向をを示します）

(1) 左右調整
・ねじを回すことで、扉の左右を調整する。
・ねじは軽く回せる範囲で調整する。

(2) 前後調整／上下調整
・ねじを緩め、位置を決めた後、ねじを締め込む。

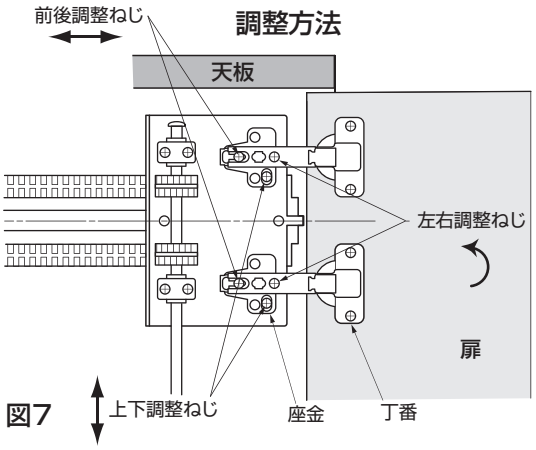


図7

⚠注意
左右調整ねじはゆるく回る範囲で調整してください。回し過ぎは破損の原因になります。

6 ガイドローラーの取付け

図8を参考に、ガイドローラーを付属ねじで天板、地板両取り付けする。

⚠注意
必ず付属のローラーを使用してください。
絶対に他の部品で代用しないでください。
もしローラーを紛失した場合は弊社にご相談ください。

⚠注意
扉を閉じるときは、扉を最後まで引き出してから閉じてください。故障の原因になります。

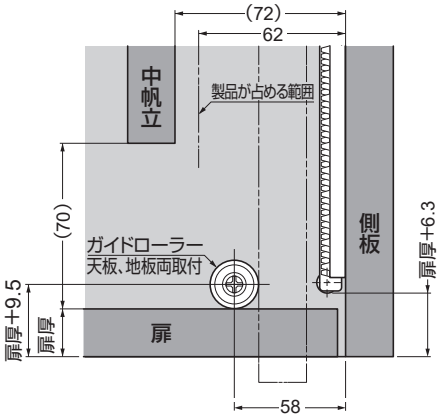


図8

本製品に関するご質問・ご相談は、
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。
※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
TEL:03-3864-1122(代)　平日9:00～17:30
E-mail : support@sugatsune.co.jp

2024.02. 0048-15j